

発刊にあたって

近年、社会の急速な変化にともない子どもたちを取り巻く教育環境も変化してきました。このような環境の変化は、子どもたちの心身の発達等にも影響を与え、いじめや不登校、学習意欲の低下等、様々な教育課題につながっていると考えられます。島根県の各学校においても、これらの諸課題に対応するため、学力向上の推進、生徒指導の推進、特別支援教育の推進等に取り組まれているところです。また、このような課題に対応するとともに、学習指導要領の趣旨を実現していくためには、児童生徒の指導に携わる教職員の指導力等の資質能力向上を一層図ることが求められます。

そうした中で、平成 24 年 8 月 28 日に、中央教育審議会から「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」が出されました。この中で、「社会の急速な進展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要であることから、教員が探求力を持ち、学び続ける存在であることが不可欠である」として学び続ける教員像の確立が大きく謳われています。

各学校では、校内の OJT 機能を活用し、教職員が学び合う場を設けたり、県教育委員会主催の各種研修を始めとした校外での研修の場も活用したりして、教職員の資質能力向上に努めていただいているところです。

教育センターでは、教職員の皆様の参考になり、教育課題解決の一助となることを目指し、調査研究事業に取り組み、研究紀要として発表しています。本年度は、共同研究 7 本を発表することになりました。

この研究紀要が、各地域の実態に応じた学校づくりや学級づくり、教職員一人一人の資質能力向上を目指すための研修などに有効に活用され、一層の教育実践の充実につながることを願っています。

最後に、研究を進めるにあたり、ご協力いただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

平成 26 年 3 月

島 根 県 教 育 セ ン タ ー 所 長

島根県教育センター浜田教育センター長

長 岡 素 巳